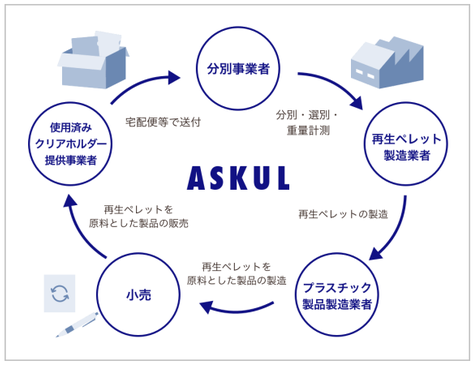
| SDGs新聞 | アスクル株式会社 |
|---|---|
| クリアホルダー（クリアファイル）がペンになって戻ってくる?! | |

## SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんは、学校のプリントをまとめるのに「クリアホルダー」は使いますか？
プリントが折れたり、汚れたりするのを防いでくれて、薄くて軽くて、とても便利ですが、何回か使った後は捨てていますよね？
ゴミになったクリアホルダーは、燃やしたり埋め立てられたりして処分されることが多く、いろいろな環境問題につながります。
そこで、さまざまな商品のネット通販を行っている「アスクル」では、使用済みのクリアホルダーを回収して、再びクリアホルダーに加工したり、ボールペンなどのさまざまな商品に生まれ変わらせる取り組みを進めています。
使用済みのモノが別のモノに生まれ変わって、また私たちのもとへ戻ってくることから、
これらの商品は「Matakul（マタクル）」と名づけられました。
みなさんも何かモノを捨てる時には、これは本当に捨てるしかないのかな？と、ちょっと立ち止まって考えてみませんか。

## SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！




画像参照：使用済みクリアホルダーリサイクルの流れ
（アスクル公式HPより）

**Matakul**

・クリアホルダーからつくったクリアホルダー
・クリアホルダーからつくったジェットストリームボールペン
・クリアホルダーからつくったブリックス ペン立て
・クリアホルダーからつくったブリックス 小物入れ

画像参照：アスクルの商品シリーズ「Matakul」
（アスクル公式HPより）

「クリアホルダー」は、学校や会社などでプリントをまとめるためによく使われています。プリントが折れたり汚れたりするのを防ぐ便利なアイテムですが、数回使っただけで捨てられてしまうことが多く、毎日大量に廃棄されています。廃棄されたクリアホルダーはプラスチック製であるため、焼却処分される際にCO2が排出され、地球温暖化などの環境問題を引き起こす原因となります。こうした問題に対してさまざまな商品のネット通販を行っている会社「アスクル」では、使用済みのクリアホルダーを回収し、新たな商品に生まれ変わらせる取り組みをスタートしました。

クリアホルダーは、ほとんどがプラスチックのみでつくられていることから、リサイクルに適した商品だといえます。アスクルでは使用済みのクリアホルダーを回収し、「ペレット」と呼ばれる素材にリサイクル。その素材を使って、新たにクリアホルダー、ボールペン、ペン立て、小物入れ、くず入れの5商品をつくりました。使用済みのものが別の商品として生まれ変わり、再び人々の手元に戻ることから、アスクルはこれらの商品を「Matakul」と名づけ販売しています。今後もアスクルでは、限りある資源の有効活用、CO2排出の削減、そして販売者としての責任を果たすために、さまざまな商品のリサイクルに取り組んでいきます。

## キーワード

**クリアホルダー**

書類やプリントを保護するための透明なファイルです。学校や会社でよく使われ、汚れや折れから紙を守ります。「クリアファイル」とも呼ばれています。

**地球温暖化**

大気中のCO2の濃度が増加することで温室効果が高まり、地球の平均気温が上昇していく現象のことです。

**ペレット**

プラスチックなどを加工しやすいように、3～5mmほどの粒状に成型したもののことです。

## 対象ゴール

| みなさんにできること！ | |
|---|---|
| モノを捨てる前に、本当に捨てるしかないのか、立ち止まって考えてみましょう。 | |
| おさらい | ● クリアホルダーの焼却処分が、地球温暖化などの環境問題につながっている。<br>● クリアホルダーはほとんどプラスチックのみでできていることから、リサイクルに適している。<br>● アスクルはクリアホルダーからリサイクルしたさまざまな商品を、「Matakul」と名づけ販売している。 |

メモ

SDGs ラジオ